

朗読のつどい

日時 10月6日(土)
午後1時30分から3時30分まで

場所 2階研修室

朗読作品 芥川龍之介作「地獄変」
民話「人間の寿命」
木村裕一作(朗読劇)「あらしのよるに」
南木佳土作「トラヤ」
古典落語「出来心」
藤沢周平作「明烏～日暮れ竹河岸より～」

朗読：土崎図書館朗読ボランティア「はまなす」の皆さん
目の不自由な方々とそのご家族、そして地域の幅広い世代の皆さんに耳からの読書を楽しんでいただく朗読会です。事前申込は不要です。直接会場へお越しください。

ブックスタート推進事業

〈日時〉
9月6日(木) 〈場所〉2階研修室
10月4日(木) 〈対象〉秋田市在住の0歳児とその保護者
午前10:30～11:30
午後2:00～3:00

赤ちゃんのためのおはなし会

〈日時〉
9月20日(木) 〈対象〉0,1歳児とその保護者
10月18日(木) 〈内容〉赤ちゃんが楽しめる
絵本や手遊びなど
午前10:00～10:30 〈申込〉不要(当日直接会場へ)
〈場所〉2階研修室

定例：おはなしの会

毎月第1,3,4土曜日に土崎図書館ボランティア「おはなしの会」の皆さんによるおはなし会を開催しています。たくさんの参加をお待ちしています。

〈対象〉幼児から小学校低学年とその保護者
〈内容〉紙芝居や絵本の読み聞かせ

中・高生の職場体験

7月、8月に職場体験に来てくれた中学生、高校生が皆さんにおすすめの本を選んでくれました。かわいいPOPやキャッチコピーで、本を紹介しています。手に取ってご覧ください。

展示本

「わたしたちのオリンピック」
「スヌーピーのひみつA to Z」
「プラチナデータ」
「戦後ギャグマンガ史」
「心を整える」
「植物図鑑」ほか
※一般書コーナー
6-2の棚の前



9・10月の行事予定・カレンダー

9/6 ブックスタート
9/20 おはなし会○
10/4 ブックスタート
10/6 朗読のつどい
10/18 おはなし会○
10/20 図書館まつり

おはなしの会(第1,3,4土)
おりがみの会(第2土)
対面朗読(火・木)



□ 行事のある日 ■ 休館日

9月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

10月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

図書館員のつぶやき

今年の2月から土崎図書館で働くことになりました、藤田です。ご挨拶が遅れてしまいました。本を読むことが大好きなので図書館で働けることがとても嬉しいです。書架整理をしていると面白そうな本がたくさんあることに気が付きます。それを何かの機会に皆様にお伝えできればいいなと思います。これからいろいろ学ばせて頂いて、お役に立てるように頑張ります。(藤田)



平成30年度 第3号 2018年9月発行

土崎図書館は空調設備の改修工事を終え、7月から通常開館いたしました。開館したと同時に連日の猛暑日でしたが、皆様にはやっと涼しい環境でご利用いただいているのでは、と少しほっとしています。9月、10月も様々な催し物がありますので、引き続き土崎図書館をご利用ください。

「読書の記録帳」をつくりませんか？

土崎図書館は、7月から申し込みが始まりました。まだお作りになっていない方は、ぜひお申し込みください。秋田市立図書館全館(フォンテ文庫、移動図書館イソップ号は除く)で受付しています。

対象 乳幼児～小学生
方法 保護者の同意が必要です。申込用紙は保護者の方からご記入いただきます。下の2種類がありますので、お好きな柄の記録帳をお申し付けください。

※ 詳細については、カウンター職員にお尋ねください。



図書リサイクル市用の本 大募集！

今年も、10月20日(土)に土崎図書館まつりが開催されます。図書のリサイクル市に提供いただける本がありましたら、ほくとライブラリー土崎図書館までお持ちください。

受付期間 9月7日(金)～10月14日(日)

※ただし、書き込み等のあるもの、雑誌、参考書、辞書、百科事典等はお断りいたします。



秋田市立土崎図書館(ほくとライブラリー)
〒011-0946 秋田市土崎港中央六丁目16-30
Tel 845-0572 Fax 845-9912
市立図書館ホームページ
<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html>

新しく入った本の紹介

(担当:川尻)

天文学者が、宇宙人を本気で探しています！

地球外知的生命探査<SETI>の最前線

鳴沢 真也／著

洋泉社

440

太陽系に地球人以外の「知的」生命は存在していませんが、太陽系の外には存在します。ではいったい、技術力の乏しい我々地球人に、彼らを見つける方法はあるのでしょうか。我々が地球外知的生命と直接出会うことは、どうやら不可能なようですが、間接的に出会う方法はあるようです。

脳を守る、たった1つの習慣

感情・体調をコントロールする

(NHK出版新書)

築山 節／著

NHK出版

498

みなさんは規則正しい生活をしていますか。毎日、何か「書く」ことをしていますか。脳を守り、脳の機能を健やかに維持することができれば、高齢になっても、感情を暴走させたり体調を崩したりするのを防ぐことができるのだそうです。さて、著者がすすめるシンプルな習慣とは？

「学力日本一」の村

秋田・東成瀬村の一年

あんばいこう／著

無明舎出版

A290.9

東成瀬村の子供たちは、小中連携の学校教育の中で他者の価値観を知る体験を幾度も重ね、自ら成長していきます。正直で純朴な村の子供たちが厳しい社会を生き抜くためには、異質なものを受け入れる力が必要。他者に触れてこそ子供は人になると、村の教育長は考えています。

新しく入った子どもの本

(担当:藤原)

なぜこうなった？あの絶景のひみつ

増田 明代／文・構成

山口 耕生／監修

講談社

45

長い年月をかけて自然がつくりだした世界中の絶景が登場します。隕石が落下してできた巨大な穴、あまりに高いため途中で水が消える滝、真っ白な砂丘に出現するエメラルドグリーンの水たまり…。土、岩、水、空などが、特殊な条件でさまざまな形にかわるしくみを解説しています。

人の心に木を植える

「森は海の恋人」30年

畠山 重篤／著

スギヤマ カナヨ／画

講談社

51

汚れた海をきれいにするため、三陸のカキ漁師さんたちが30年前にはじめたのが植林。海のために山に木を植える？そう、森と川と海はつながっていて、豊かな森が海の生き物を育むのです。「カキじいさん」こと畠山さんが子世代、孫世代に伝え、一緒に取り組んできた活動を語ります。

ちっちゃい おおきい おんなのこ

クレア・キーン／作

なかがわ ちひろ／訳

ほるぷ出版

Eキ

マティスはちっちゃな女の子。海も空も町もおみせも、身の回りのすべてのものはとってもおおきくて、元気にあちこちを駆け回る毎日。そんなマティスにおとうとが生まれました。自分よりも小さな手、足、あくびを見ているうちに、今までとは違う自分に気づくのでした。

おすすめ BOOK リスト

今週のテーマ 食べてみたい?! (担当:佐々木)

本を読んでいると「〇〇が食べたくなる」ことがありますか？今回は、そんな本をご紹介します。

「ちょっと不気味だけど、食べてみたいな…。」とか「私は絶対に食べない！」など、感じ方は人によって様々だと思います。

ちなみに、図書館の本を読みながら飲食をすることは、ご遠慮くださいね。

もしもせかいがたべものでできていたら

カール・ワーナー／写真・文 今井悟朗／訳 フレーベル館

Eワ

この絵本を開くと、美しい景色の写真が広がっています。しかし、よく見るとその景色は、すべてが食べ物！黄色の食べ物で作られた砂漠や、真っ白なアイスクリームの山並みなど、不思議な世界にひきこまれます。どんな食べ物がかくれているか、じっくりと探してみてね。

岸辺のヤーピー

梨木 香歩／著 福音館書店 91ナ

見た目はカヤネズミのようなのに、二本足で立ち、人間の言葉を話すことができるヤーピー族。岸辺では、「大きい人（人間）には用心！」と言われていたのに、うっかり姿を見られてしまい…。一粒のミルクキャンディーがもたらす、心あたたまる物語です。

うなぎ女子

加藤 元／著 光文社 Fカ

鰻屋「まつむら」を舞台に、うなぎのように掴み所がない1人の男に振り回される、女子たちの切ない恋愛小説。読み終える頃には、うなぎを食べたくなること間違いなし！

食べられる深海魚ガイドブック

落合芳博／監修 21世紀の食調査班 自由国民社 664

世界の不思議な野菜

湯浅 浩史／著 誠文堂新光社 62

「ところ変われば品変わる」と言われるように、普段は食べない物でも、地域によって好まれている物もあります。例えば、有明海沿岸ではイソギンチャクを食べたり、中国雲南省ではドクダミの地下茎を生そのまま醤油をつけて食べるとのこと…。さて、あなたは食べてみようと思いますか？